



装備の知識について



アウター・リヤ・ビュー・ミラー

エンジン・フード

ヘッド・ランプ

ドア・アウトサイド・ハンドル

ハザード・ウォーニング・ランプ
サイド・ターン・シグナル・ランプ

スモール&パーキング・ランプ
フロント・ターンシグナル・ランプ
ハザード・ウォーニング・スイッチ



ハザード・ウォーニング・ランプ

ターン・シグナル・ランプ

反射器

パーキング・ランプ

テール&ストップ・ランプ

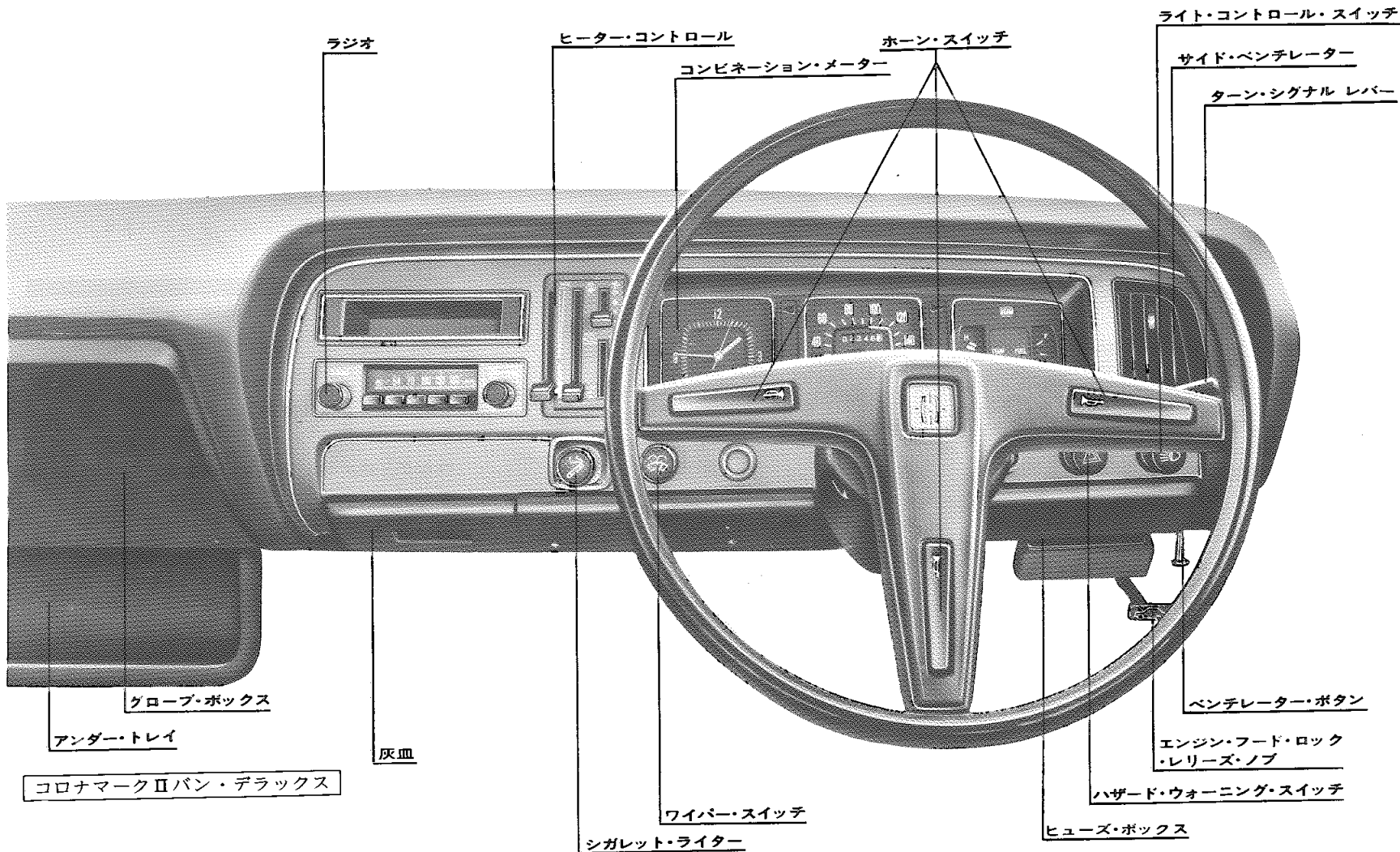
バック・アップ・ランプ

バック・ドア

ナンバー・プレート・ランプ

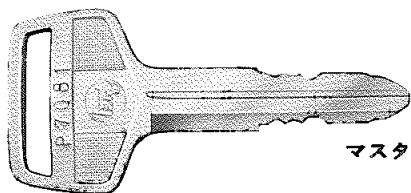
コロナマークIIバン・デラックス

無断複製禁止



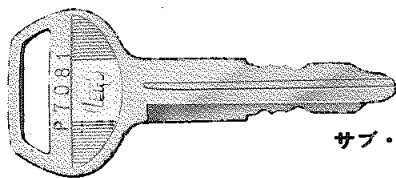
ご乗車の前に

■キーの確認をしましょう



マスター・キー

(すべてのキーシリンダーに使用)



サブ・キー

(デラックス車のみ)

(グローブ・ボックス以外のキーシリンダーに使用)

サブ・キーはグローブ・ボックスに貴重品を入れたままキーをつけて車を預けるときなどにお使いください。

★注意

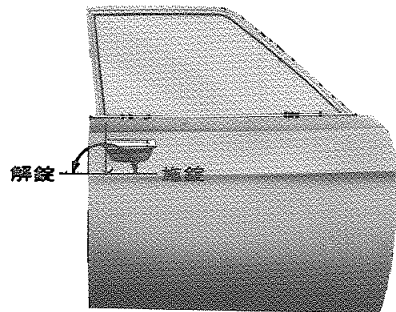
キー・ナンバーをひかえておきましょう。

万一、キーを紛失されたときは、取り扱い店にご相談ください。

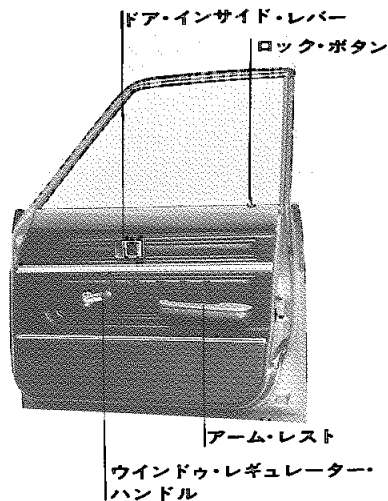
キー・ナンバー

| | |
|---------|--|
| マスター・キー | |
| サブ・キー | |

■ドアについて



解錠 施錠



ドア・インサイド・レバー
ロック・ボタン
アーム・レスト
ウインドウ・レギュレーター・
ハンドル

ドアを開けるときは

外側から……

ドア・アウトサイド・ハンドルを持ち上げます。

内側から……

ドア・インサイド・レバーを手前にひきます。

★注意

必ず後方確認をしましょう。

いきなりあけると後続車がぶつかり危険です。

ドアを閉じるときは

安全のため2段ロック式になっています。

確実に締めましょう。

★注意

半ドアの状態では、運転中ドアが開く恐れがあります。

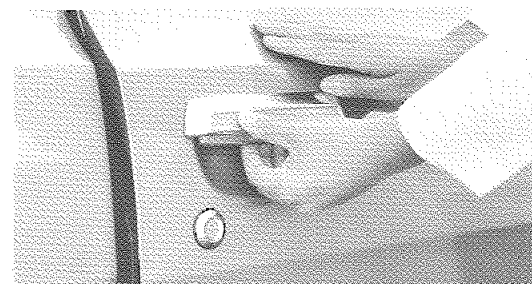
ドアをロックするときは

車内から……

ロック・ボタンを押し下げます。

車外から……

〈フロント・ドア〉

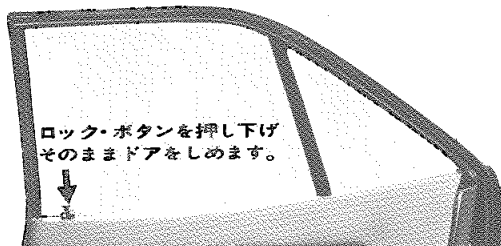


ロック・ボタンを押し下げ、ドア・アウトサイド・ハンドルの内側のレバーを引き上げたままドアを閉めます。

★注意

キーを車内に置き忘れないようにしましょう。

＜リヤ・ドア＞

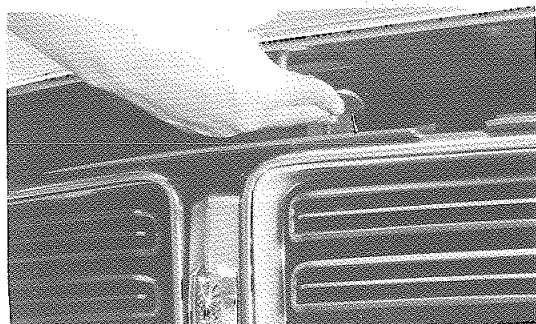


■エンジン・フードを開けるには



①計器盤下のノブを引きます。

ロックがはずれ、セーフティ・ラッチがかかった状態になります。

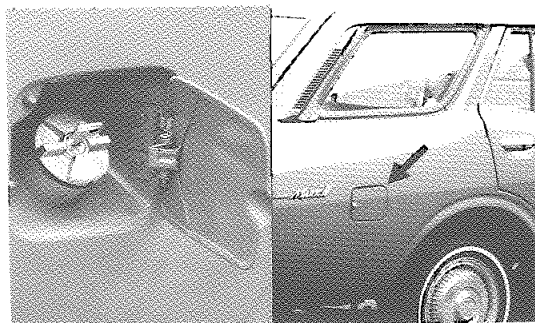


②エンジン・フードのすき間に手を入れセーフティ・ラッチをはずしエンジン・フードをいっぱい開けます。

③閉じるときは、フードをさげて前端を押えつければロックします。

★注意
フードが半ロックの状態では走行しないでください。

■ガソリンを補給するには



キャップにはロックがついています。キーをOFFにしてから取りはずします。(除くスタンダード車)

★注意
ガソリンはレギュラ・ガソリンをお使いください。

■バック・ドアを開けるには

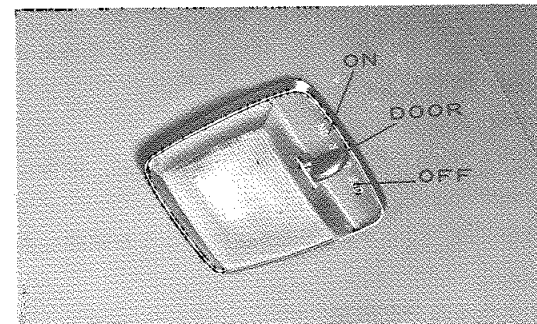


プッシュ・ボタンを押して、バック・ドアを持ち上げて開きます。

バック・ドアを開くとバック・ドア・ランプが点きます。

閉じるときは、バック・ドアをそのまま下までおろし、上から手で押さえつけます。

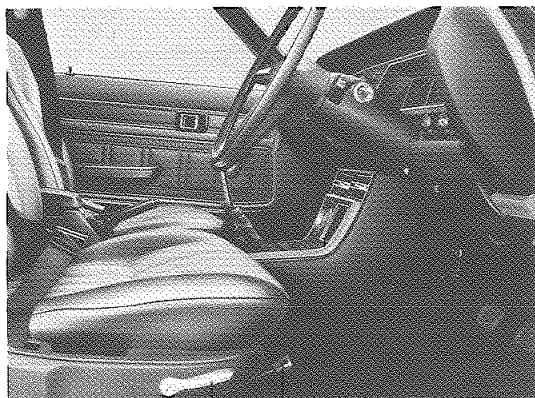
■ルーム・ランプとドアの関係は



ルーム・ランプ・スイッチは3段になっています。

- ① O N…………ドアの開閉に関係なく点灯
- ② D O O R…………ドアを開いたときのみ点灯
- ③ O F F…………ドアの開閉に関係なく消灯

シートについて



シート・アジャスト・レバー

リクライニング・アジャスト・レバー

■フロント・シートの位置を調整しましょう。
シートの位置調整は、正しいドライビング・ポジションで運転するために必要なことです。
ペダルを十分に踏むことができる、ゆとりのある位置に調整しましょう。

前後位置調整

シート下のレバーを外側に押ししている間、前後に移動できます。

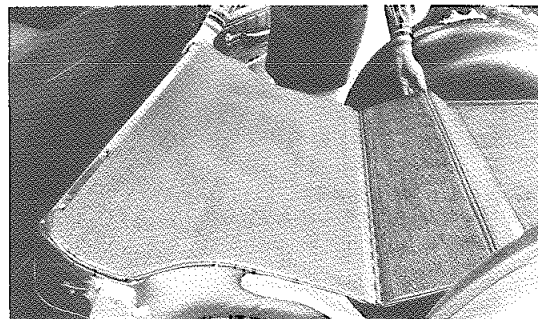
調整後は、シートがロックされたことを確認しましょう。

リクライニング調整

シート横のレバーを引き上げると、シート・バックの角度が調整できます。

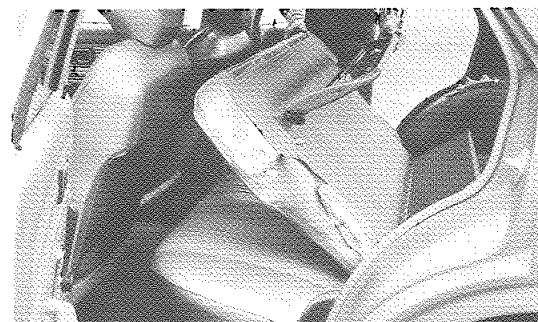
☆注意

シートの位置調整は、車を運転する前に行なってください。車が動いているときの調整は運転姿勢がくずれ危険です。



シート・バックを後に押さえつけると自動的に固定されます。

セパレート・シート車



リヤ・シート・バックを倒すときは、シート・バックの裏のハンドルを上引きしてから前に倒します。

シート・バックを倒したときは中央部のパネルを押しつけ固定し、つぎにハンドルをいっぱい起してください。

シート・バックを起すときは、まず中央部のパネルを起してからシート・バックを起します。

リヤ・シート

ベンチ・シート車



シート・バックは前に倒すことができます。

リヤ・ロック・レバーを前にいっぱい引き、シート・バックを前に倒します。

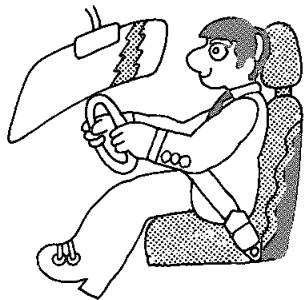
シート・バックを起こすときは、中央のパネルを持ちあげて起こします。

シート・バックをいっぱい起してから、ハンドルを倒し、シート・バックを押しえつけて固定します。

☆注意

シート・バックを起すとき、先にハンドルを倒すとシート・バックを起こし、あと固定することができません。

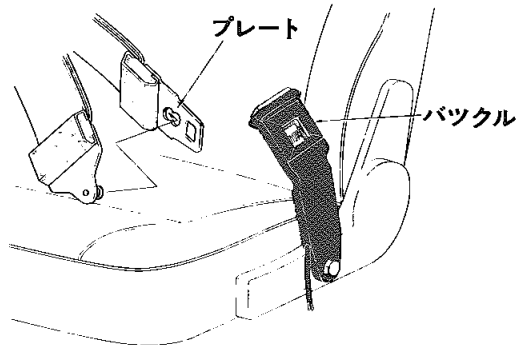
■ヘッド・レストを正しい位置に前に押しして高さを2段に調整できます。上の位置で使用してください。ヘッド・レストの正しい位置



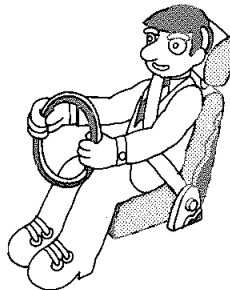
■セーフティ・ベルトを忘れずに運転するときは、必ずセーフティ・ベルトをしましょう。ベルトはいつも清潔にしておきましょう。また破れがないか点検をしましょう。なお、汚れを落とすには、中性洗剤でブラッシングして布でふきとってください。フロント・シート用は標準装備、リヤ・シート用はオプションです。

装着方法

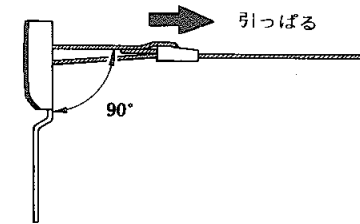
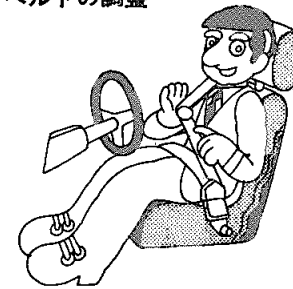
1. シートを運転しやすい位置に調節し腰ベルトをいっぱい引き出し、ねじれていないことを確認します。
2. 肩ベルトを、少し長目に調節して、ねじれていないことを確認してプレートにはめます。
3. 2.でセットしたプレートをバックルにはめ、腰ベルトを体に合うように調節してください。



ベルト装着の正しい状態



ベルトの調整

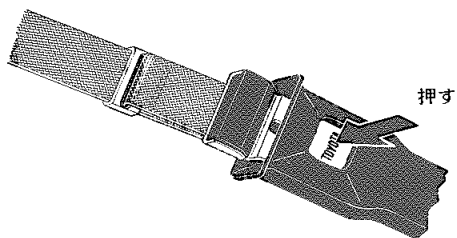


リトラクタからいっぱい引き出し、運転操作の妨げにならない長さに調整します。ベルトをひき出すときは、リトラクタから直角に引き出してください。胸とベルトとの間は、にぎりこぶしがはいる位の余裕があるように調整します。

☆注意

1. 1本のベルトを2人で使用することは、やめてください。
2. お子様を使用することはやめてください。

取りはずし



腰ベルトは、バックルをドア側に向けて一度引き手を離せば自動的に格納されます。

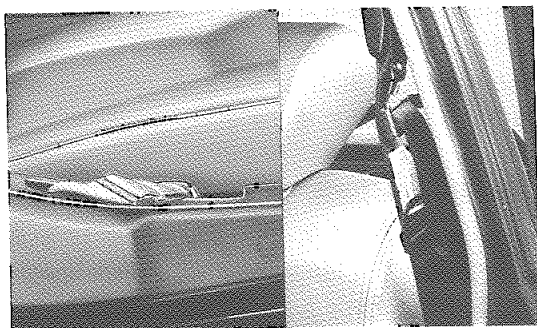
また、短時間車から離れ、再び運転をするときは肩ベルトはバックル・プレートに取り付けたままにしておいても差しつかえありません。

格納方法

空席のベルトは図のように格納しましょう。

〈腰ベルト〉

〈肩ベルト〉

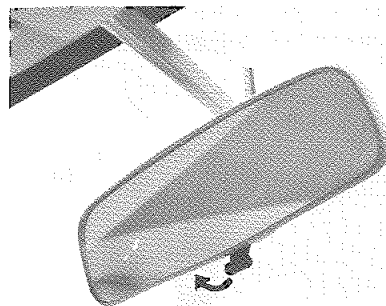


■ミラーの調整をしましょう。
インナー・リヤ・ビュー・ミラー
アウター・リヤ・ビュー・ミラー

後方視野が十分に確認できる位置に調整しましょう。

防眩式インナー・リヤ・ビュー・ミラー

デラックス車のみ



夜間走行の場合、後続車のライトがインナー・ミラーに写り、まぶしいときに使用します。

ミラーの下にあるレバーを手前にひくと後続車のライトの反射が弱くなり、後続車も確認しやすくなります。

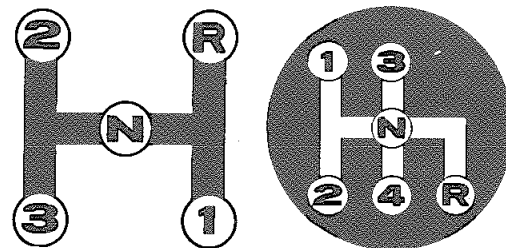
防眩が必要なくなったときは、レバーを押してもとの位置にします。

シフト・レバーの各レンジ

■マニュアル・トランスミッション

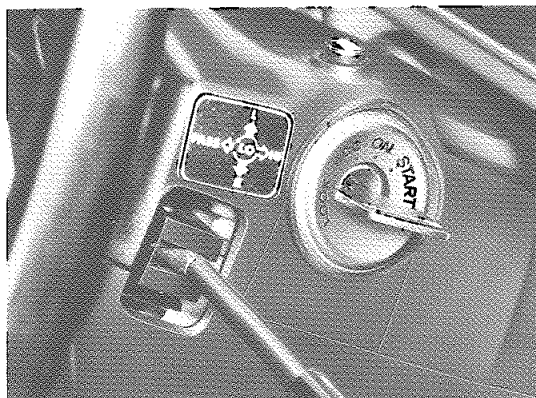
3段コラム・シフト

4段フロア・シフト



メーター、スイッチ類 について

■エンジン・スイッチ



LOCK…キーを抜き差しできる位置

ACC……エンジンを止めたままラジオおよびカー・ステレオの聞ける位置

ON……エンジンを回転中の位置

START…エンジンを始動する位置

手を離せば自動的にONにもどります。

ロック

キーをACCからLOCKの位置にするときは、プッシュ・ボタンを押さえて回します。

アン・ロック

キーがLOCKからACCにまわらないときは、ハンドルを軽く左右にまわしながらエンジン・キーをACCの方向にまわすとはずれます。

★注意

1. エンジン停止時スイッチはLOCKまたはACCの位置しておきましょう。長時間停止するときはLOCKの位置にしてください。ONの位置で放置するとバッテリーあがりの原因になります。
2. エンジンがかからないとき、無理にそのままSTARTの位置で長時間回さないでください。バッテリーがあがります。
3. エンジンを止めてラジオまたはカー・ステレオを長時間つけておくとバッテリーあがりの原因になります。
4. エンジンがかかっているときキーを、STARTの位置に回さないようにしましょう。スターターが無理にかみあい破損します。
5. 走行中はキーを絶対にLOCKの位置まで回さないでください。危険です。

■チョーク

オートマチック・チョーク付車は寒冷時、エンジンを始動するときに、自動的にチョークがはたっていて、始動を容易にできるようになっています。オートマチック・チョーク付車以外はチョーク・ボタンで操作します。

オートマチック・チョーク

- ①エンジンを始動する前にアクセル・ペダルを次のように踏み込みます。

| 外 気 温 | 踏 む 回 数 |
|----------|----------|
| +5℃以上 | 軽く1回 |
| +5℃～-10℃ | いっぱい1～2回 |
| -10℃以下 | いっぱい2～3回 |

- ②アクセル・ペダルから足を離しエンジンを始動します。

- ③しばらく暖機運転をします。

〔オートマチック・チョークが働いている間は、アイドリング回転数は通常より高くなっているためアクセル・ペダルを踏んでいる必要はありません。〕

- ④エンジンが暖まってから再びアクセル・ペダルを踏み込んでから離します。

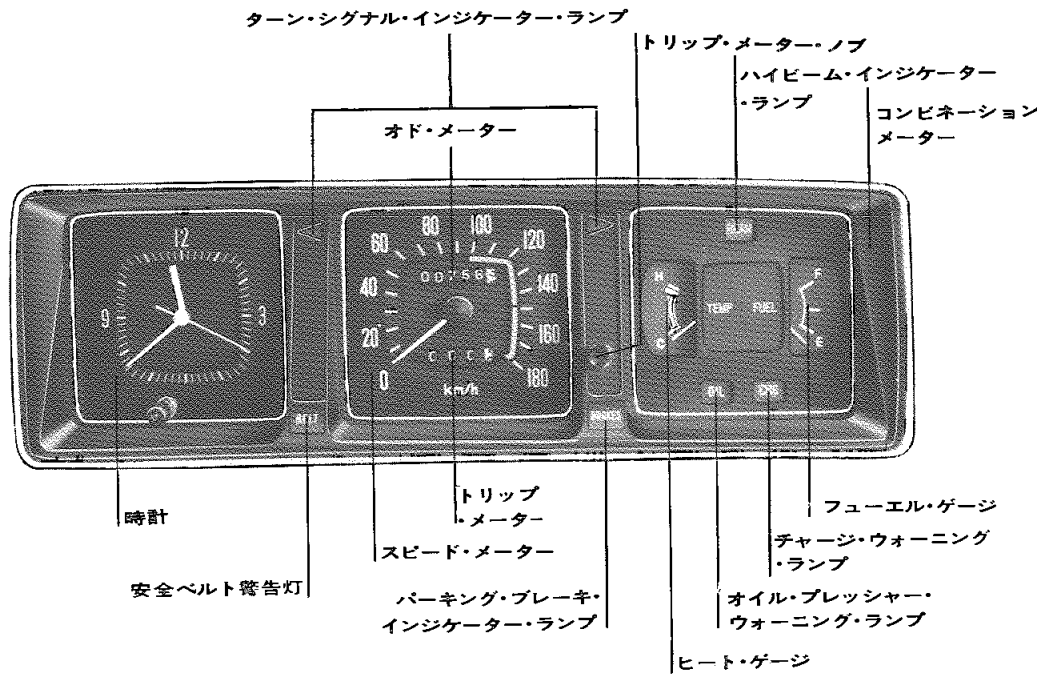
〔アクセル・ペダルを踏み込むと、チョークがもどりアイドリング回転になります。〕

★注意

EFI車の寒冷時始動は、いったんエンジン・スイッチをONの位置にし、約1秒後にアクセル・ペダルを踏まずにスターターを回しますと始動時間が短かく容易になります。

■メーター類

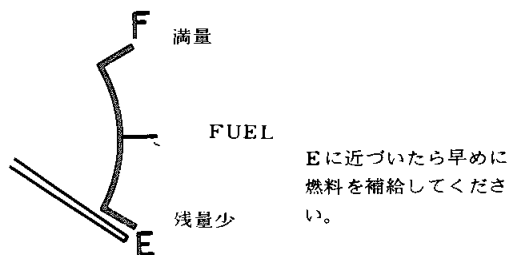
角型 3 眼メーター付車



■**フューエル・ゲージ**〈燃料計〉

エンジン・スイッチがONのときにフューエル・タンク内の燃料の量を示します。

エンジン・スイッチがON以外では、指針はEより下の位置にあります。



■**ヒート・ゲージ**〈水温計〉

エンジン・スイッチがONのときに冷却水の温度を示します。

エンジン・スイッチがON以外では、指針はCより下の位置にあります。

指針がレッド・ゾーンにはいったら、オーバーヒートの危険信号です。適当な場所で、しばらく休んでエンジンを冷やしてから運転してください。イエロー・ゾーンまでは走行してさしつかえありません。

■**チャージ・ウォーニング・ランプ**〈充電警告灯〉

エンジン回転中、充電系統が異常のときに点灯し(赤色)警告します。

ただし、エンジン停止中にエンジン・スイッチをONにすると点灯し、始動すると消灯します。

■**オイル・プレッシャー・ウォーニング・ランプ**

〈油圧警告灯〉

エンジン回転中、潤滑系統が異常の時に点灯(赤色)し警告します。点灯したままのときはオイル量を調べてください。

ただし、エンジン停止中にエンジン・スイッチをONにすると点灯し、始動すると消灯します。

■**パーキング・ブレーキ・インジケーター・ランプ**

エンジン・スイッチがONのときパーキング・ブレーキ・レバーを引くと点灯(赤色)します。

そのままの状態、ブレーキ・ペダルを踏むとブレーキ配管系統に異常がなければ、ランプが消灯します。

■**ハイ・ビーム・インジケーター・ランプ**

ヘッドランプがハイ・ビームのとき、ハイ・ビーム・インジケーター・ランプが点灯(青色)します。

■**ターン・シグナル・インジケーター・ランプ**

右折または左折のとき、それぞれのターン・シグナル・インジケーター・ランプが点灯(緑色)します。

■**安全ベルト警告灯**

パーキング・ブレーキ・レバーを引いた状態で、点灯(赤色)し、セーフティ・ベルトを装着すると消灯します。

■**スピードメーター**

指針は車の走っている速度を示し約100km/h以上になるとチャイムが鳴り警告します。チャイムが鳴っているとき指針が振れることがあります。が異常ではありません。

■**オド・メーター**

走行した総距離をkmの単位で表わします、白地に黒文字は、100mの単位です。

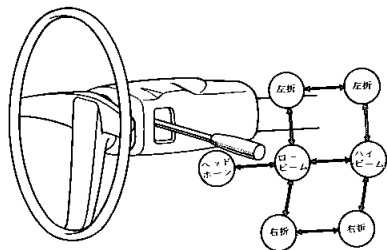
■**トリップ・メーター**

オド・メーターと共に走行した距離を表示します。ある区間または、期間に走行する距離を知りたいとき0にもどして使用します。0にもどすときは、トリップ・メーター・ノブを押せば0にもどります。

■**時計**

時刻調整は、つまみを手前に引いたまま、まわして行ないます。

■ ターン・シグナル・レバー



ターン・シグナル・スイッチとして……

右左折のとき上図のように操作します。操作した側のターン・シグナル・ランプが点滅するとともにターン・シグナル・インジケーター・ランプが点滅します。

ハンドルをもとにもどすとレバーは自動的にもどります。ハンドル操作が少ないときスイッチが自動的にもどらない場合があります。このときは手でもどしてください。

ヘッドランプ・ホーン・スイッチとして……

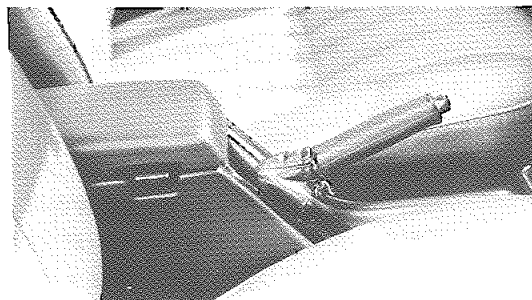
レバーをロー・ビームの位置から手前に引いている間ヘッドランプのハイ・ビームが点灯します。高速道路で先行車を追い越すときなどの合図として使います。

ヘッドランプ切り換えスイッチとして……

夜間先行車や対向車のあるときはロー・ビームにしてください。

■ パーキング・ブレーキ・レバー

フロア・シフト車



駐車時レバーいっぱい引いて使います。

もどす場合は、レバーの先端のボタンを押してもどします。

コラム・シフト車

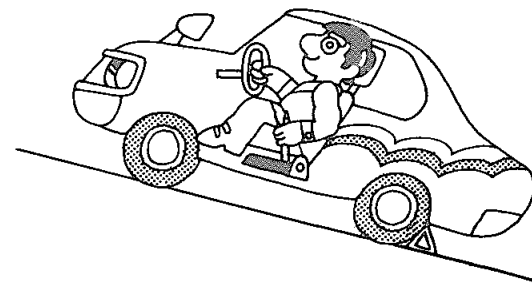


駐車時いっぱい引いて使います。

もどす場合は下に約60°まわしてもどします。

坂路での駐車は……

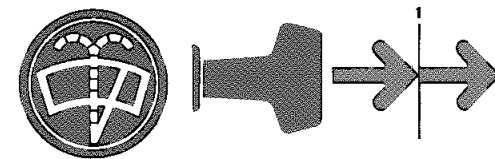
図のようにパーキング・ブレーキを引いた上、ギヤをローまたはリバースに入れ、さらに上り坂では後輪に、下り坂では前輪に輪止めをします。



■ ワイパー&ウォッシャー・スイッチ

エンジン・スイッチがONのときに作動します。

ワイパー・スイッチ

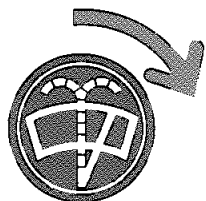


1 … 低速、普通雨量のとき。

2 … 高速、雨量の多いとき。

スイッチを切ると、ワイパーは動き始めの位置までもどって止まります。

ウォッシャー・スイッチ



ウィンドウ・ウォッシャーはワイパーと連動式になっています。スイッチを右にまわすとウォッシャー液が噴射され、同時にワイパーが数回作動し止まります。

ウィンドウ・ガラスがよごれているときに使用します。

☆注意

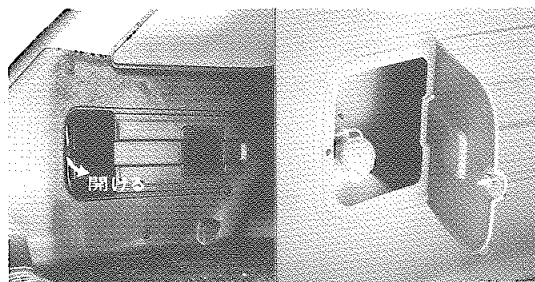
1. 汚れたまま使用するとガラスに傷がつきます。ウィンドウ・ガラスが汚れているときは、ウォッシャー液噴射後ワイパー・スイッチを入れてください。
2. ウィンドウ・ウォッシャー液がカラのときはスイッチをまわさないでください。まわすとポンプをいためる恐れがあります。

リヤ・ワイパー

オプション仕様

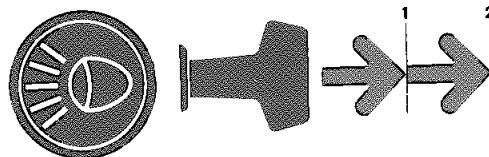


スイッチを切ると、ワイパーは動き始めの位置までもどって止まります。



スイッチを右にまわすと、ウォッシャー液が噴射されます。

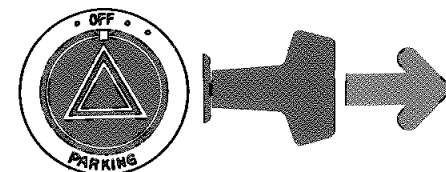
ライト・コントロール・スイッチ



エンジン・スイッチに関係なくランプがつきます。
①および②の位置でそれぞれ次の○印のランプが点灯します。

| 灯 火 名 | ① | ② |
|-------------------|---|---|
| ヘッドランプ | | ○ |
| スモール・ランプ, テール・ランプ | ○ | ○ |
| ナンバー・プレート・ランプ | ○ | ○ |
| メーター・パイロット・ランプ | ○ | ○ |

■ハザード・ウォーニング&パーキング・スイッチ ハザード・ウォーニング・スイッチとして



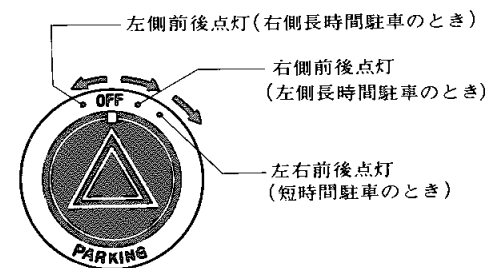
故障して、路上駐車するとき他車の追突防止のため使用します。

スイッチを引くと、前後左右のターン・シグナル・ランプとともに、ターン・シグナル・インジケーター・ランプが点滅し、駐車していることを知らせます。

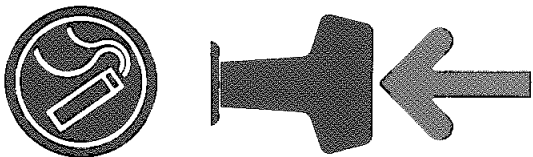
☆注意

ハザード・ウォーニング・スイッチは非常の場合以外は使わないようにしましょう。走行中、トンネル内などで使用すると他車の誤解をまねき危険です。

パーキング・スイッチとして
夜間路上駐車時使用します。



■シガ・ライター



シガレット・ライターは、押しこんだらすぐ手を離してとび出すのを待ちます。

★注意

押しえつけたまましていると、シガレット・ライターをいためます。

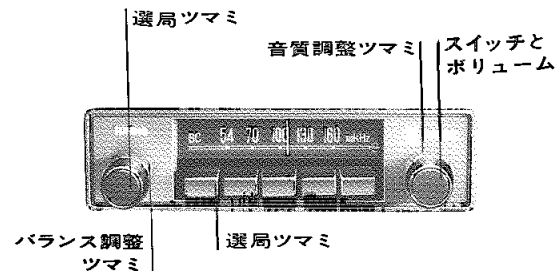
運転を楽しく、快適にー

■ラジオ

デラックス車

ラジオは、エンジン・スイッチがONかACCのときに聞くことができます。

プッシュ・ボタン式



〈電源スイッチとアンテナ〉

ラジオのスイッチを押すと、電源が入り同時にアンテナが1段とび出します。

アンテナをさらにのばしたいときは、手でひっぱり出します。

アンテナはいっぱい押し込むとロックされるので次に使用するときには、再びラジオの電源スイッチをONにします。

〈選局ボタンのセットのしかた〉

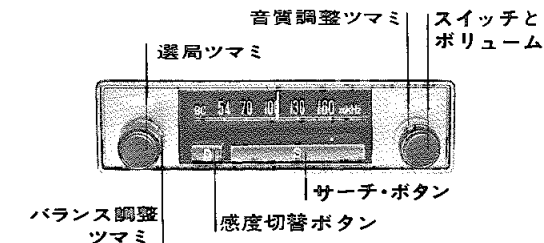
1. ボタンの1つをいっぱい引き出します。
2. 左側選局ツマミで望みの局に合わせます。
3. 引き出したボタンをいっぱい押し込みます。
4. 他のボタンも同じ方法でそれぞれの局にセットできます。

放送局の違う地域へ行ったなら選局しなおしてください。

〈選局ダイヤル〉

選局ボタンでセットした局以外の放送局を選ぶときは左側の選局ツマミで合わせてください。

AMサーチ・チューナー式 オプション仕様



音量調整・音質調整は、プッシュ・ボタン式と同じ取り扱いです。

〈選局のしかた〉

サーチ・ボタンを押すと、指針が自動的に移動し次に受信できる局で止まります。

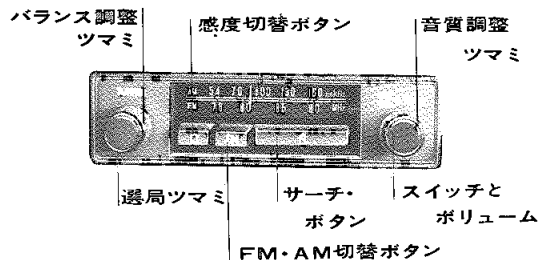
〈感度の切替〉

山間部などの電波の弱い地域や、遠くの放送電波をキャッチしたいときに、感度切替ボタンを押し込んでください。

もう一度ボタンを押すともとの位置にもどり、近距離の局のみ選局できます。

AM・FMサーチ・チューナー式

オプション仕様

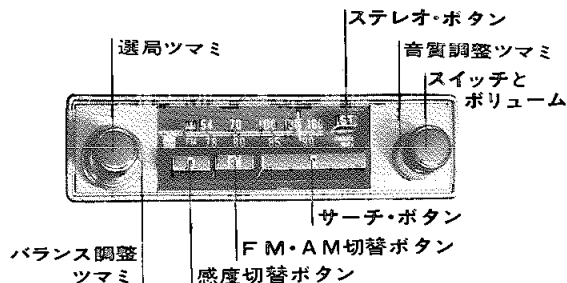


＜FMボタンのセットのしかた＞

FMボタンを押し込むとFM放送が受信できます。FMボタンをもう一度押すとボタンの位置がもとにもどりAM放送受信状態となります。選局のしかたと感度の切替えはAMサーチ・チューナー式と同じです。

AM・FMマルチ・ステレオ式

オプション仕様



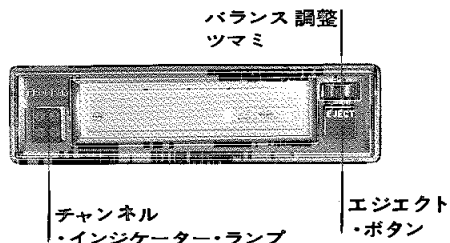
選局のしかた、FMボタンのセットのしかた、感度の切替え、ともにAM・FMサーチ・チューナー式と同じです。

＜マルチ・ステレオのセットのしかた＞

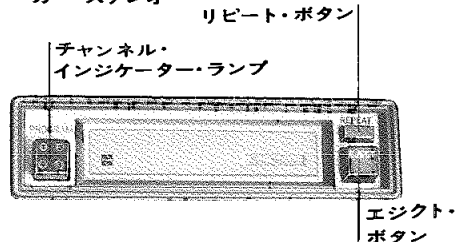
ステレオボタンを押すとFMステレオ放送を受信できます。ステレオ受信中にはステレオインジケータランプが点灯します。もう一度ステレオボタンを押すとボタンは戻りFMモノラル放送にかわります。

■カー・ステレオ

オプション仕様



AM・FMマルチステレオ式
"カー・ステレオ



エンジン・スイッチがONまたはACCのとき使用できます。カートリッジ・テープをまっすぐ差しこむと自動

的にチャンネルインジケータランプがつき演奏が始まります。

＜バランス調整＞

バランス調整ツマミをまわすと、音が左右に移動します。

もつとも、ステレオ感のもりあがる位置にこのツマミを調整してください。AM、FMマルチステレオ式カー・ステレオは、ラジオのバランス調整ツマミで調整してください。

＜音量調整＞

ラジオの音量調整ツマミをまわして適当な音量に調整してください。

＜音質調整＞

ラジオの音質調整ツマミをまわして、好みの音質に調整してください。

＜チャンネル切替＞

演奏中、他のチャンネルに切換えることができます。

1つのプログラムの演奏が終わると自動的に次のプログラムに切替わります。AM、FMマルチステレオ式カー・ステレオは、リピートボタンを押すとプログラムをくりかえすことができます。

＜演奏停止＞

EJECTボタンを押すとテープが自動的にとび出し演奏はとまり、電源も切れます。

★注意

カートリッジ・テープの保存はテープが露出しないようにケースに入れ直射日光をさけて保存してください。

■ヒーター

デラックス車

温度調整レバー

WARM 室内暖房
VENT 室内循環

内外切替レバー

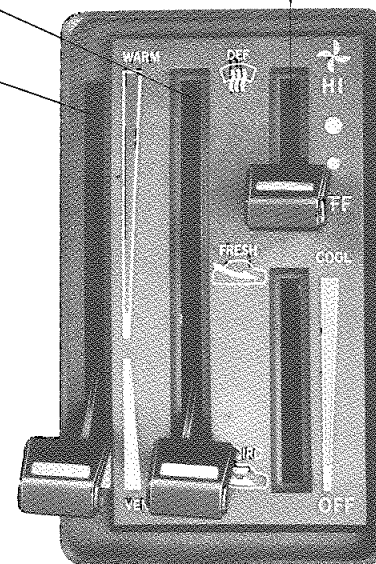
DEF ガラス曇り止め
FRESM 外気導入
RECIRC 内気循環

ファン・スイッチ

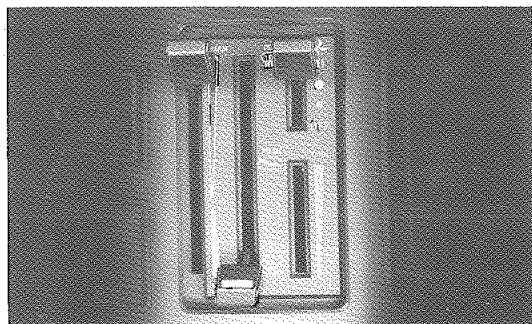
HI 強い風
● 中風
● 弱風
OFF 停止

ヒーターは次のような機能をもっています。

- ①ヒーター(暖房用)として
 - ②デフロスタ(曇りどめ)として
 - ③ベンチレーション(換気用)として
- スイッチ・レバー操作は、次のようにします。

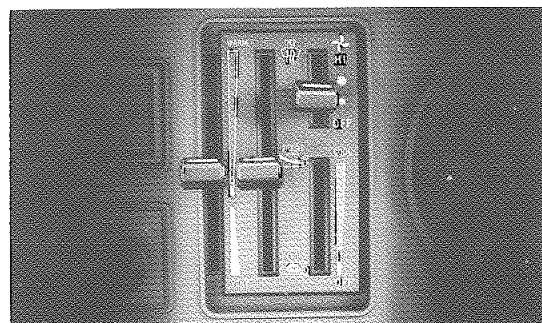


1. 内気による室内暖房



外気がとくに冷たいときは、外気をシャット・アウトし、室内空気を暖めて循環させます。
窓ガラスが曇ってきたときは外気導入にします。

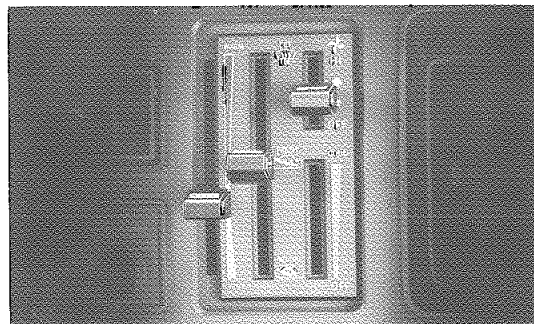
2. 外気による室内暖房(通常のご使用の場合)



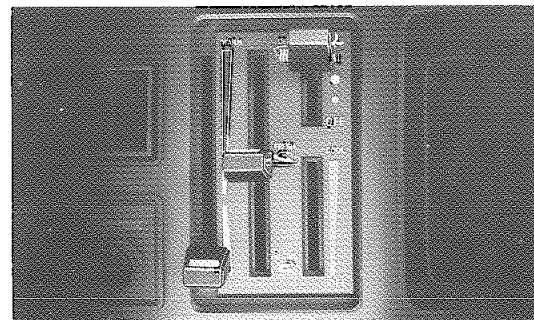
WARMとVENTとの間をもっとも快適な位置に調整してください。

WARMに近づける程、ベンチレーション・ルーバーからの風が強くなります。

3. 車内を暖めながら換気する操作

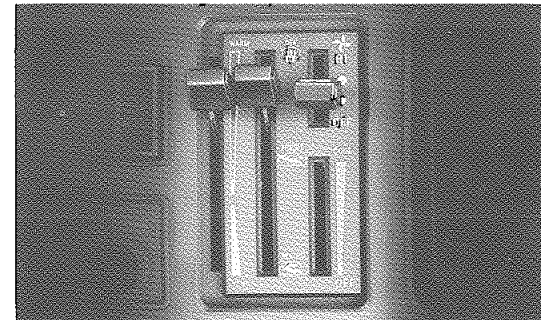


4. 強制ベンチレーション (夏期ベンチレーション)



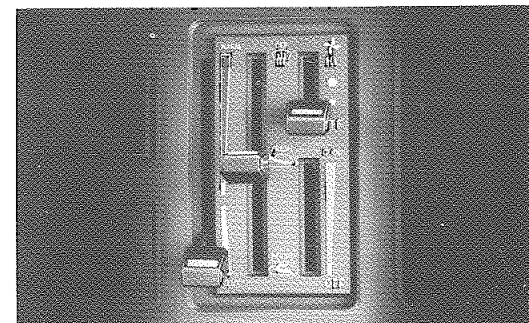
サイド・ベンチレーターも使用すると一層効果があります。

5. ガラスの曇りどめ(冬期の場合)

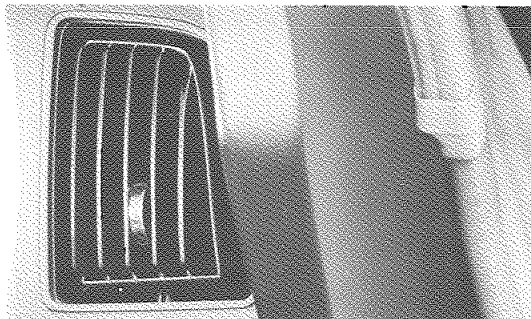


曇り止めのためにはサイド・ガラスを少し開けると一層効果があります。

6. ファン停止でも新鮮な空気が導入できる操作

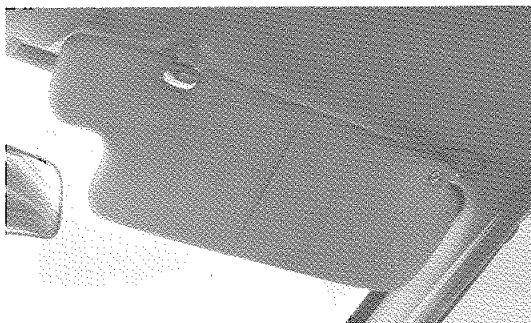


■ サイド・ベンチレーター



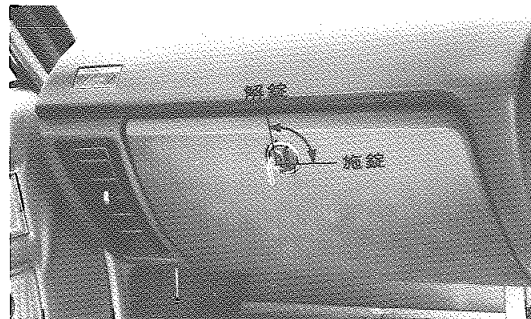
車内の空気を入れかえたいときノブを引いて使用します。
ベンチレーターから新鮮な空気がはいらいます。
また、中央部のルーバーを動かすことにより風向きの調節もできます。

■ サン・バイザー



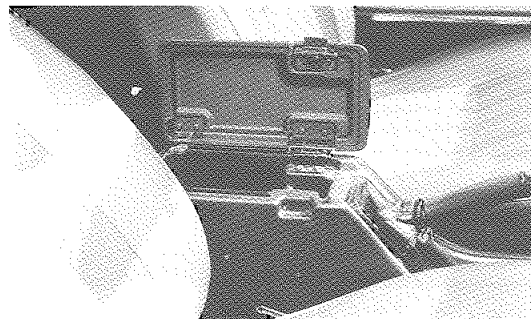
ホルダーからはずすと、横にまわすことができます。

■ グローブ・ボックス



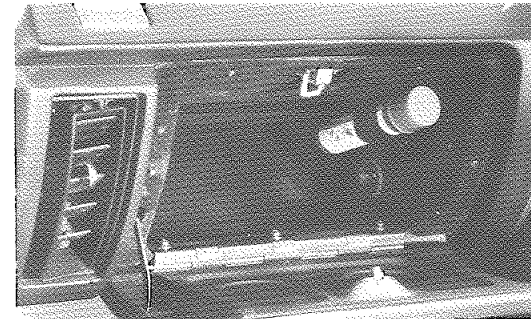
キーで解錠してつまみを左にまわします。
また、ライト・コントロール・スイッチがONのときにふたを開くとボックス内右側のマップ・ランプがつきます。
なおグローブ・ボックスの施錠、解錠はマスター・キーで行ないます。

■ コンソール・ボックス



運転席側のボタンを上押し上げてフタを開けてください。

■ 保安炎筒



非常事態が発生したときに使用します。使用法は保安炎筒に書いてある説明をよく読んで万が一に備えてください。
保安炎筒には有効期限があります。有効期間は3年でラベルに明示されていますので確認しておきましょう。発炎時間は5分間です。

★ 注意

非常信号用としてのみご使用ください。
使用中、筒の先を顔や体に向けたり、近づけたりすると火傷の危険があります。取り扱いには十分注意してください。
また、トンネル内で使用すると視界がわるくなり危険ですので絶対使用しないでください。

